東海道五十三次27番目の宿場

どまんや ふくろい

PRESS RELEASE

袋井市企画財政部企画政策課
シティプロモーション室
令和３年１月２９日

２月１日、市役所北分庁舎が「袋井国際交流センター」として生まれ変わります

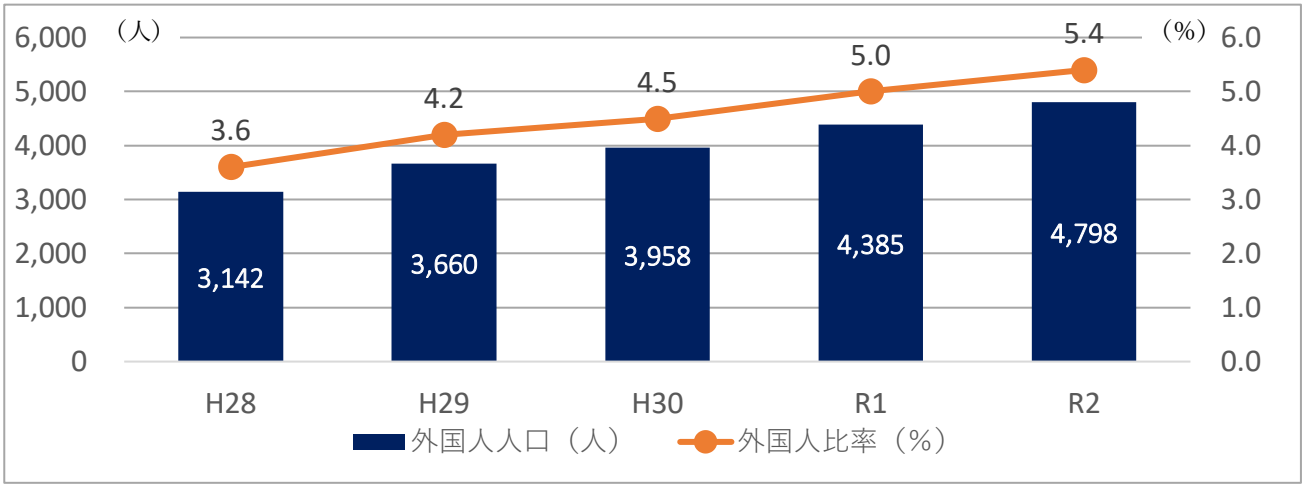
●市役所北分庁舎では、袋井国際交流協会が市内に居住している日本人市民と外国人市民の相互理解によるまちの国際化や諸外国との交流のさらなる発展につなげる諸活動を実施。コロナ禍や外国人人口の増加に伴い、外国人相談や日本語教室の需要が増加しており、相談者のプライバシーに配慮した相談環境の充実や日本語教室参加者の受け入れが課題となっている。

●このため、市は、市役所北分庁舎の建物南側の倉庫部分を改修し、相談スペース兼会議室を整備。多文化共生・国際交流の拠点として、北側部分と合わせて建物全体を「袋井国際交流センター」と改称する。

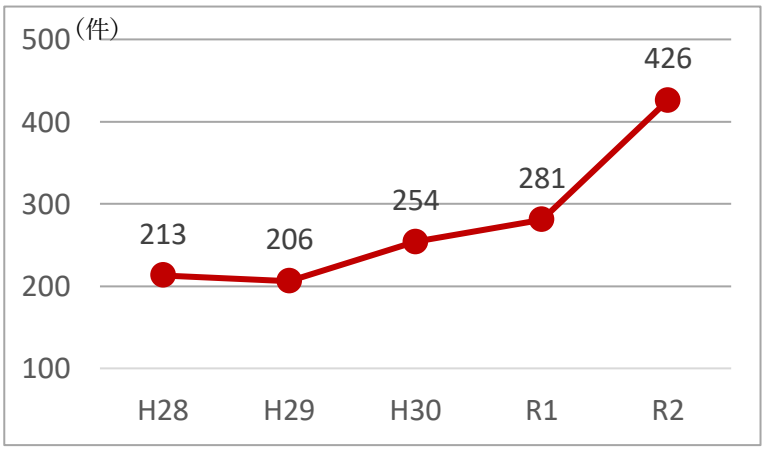
●袋井国際交流協会は、今後、日本語教室をはじめ、子ども英語教室や大人の英語教室、ポルトガル語教室の定員を増やすとともに２月から新たにスペイン語教室も開始し、施設の有効利用と事業の充実を図る。

●改修後初となる２月６日（土）の日本語教室に市長が訪問し、学習者やサポーターなどに向けて、激励のあいさつを行う。

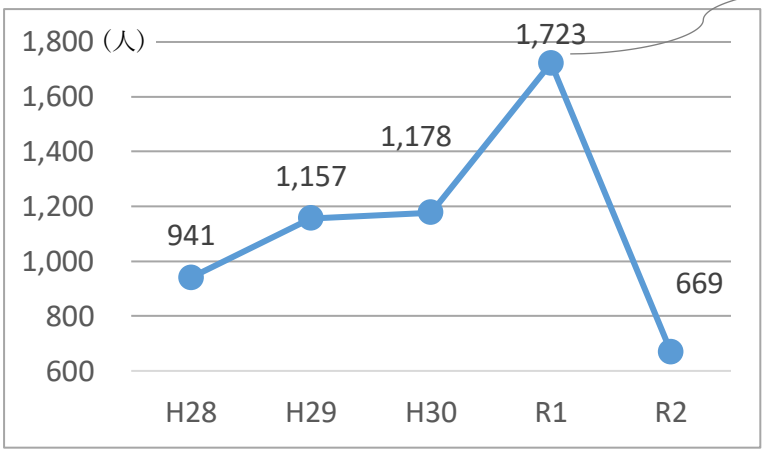
袋井市の外国人人口及び外国人比率の推移（各年４月１日現在）



外国人相談の件数の推移（各年度・Ｒ2は12月まで）



日本語教室学習者数の推移
（各年度延べ人数・Ｒ１は２月まで、R2は６～12月まで）



令和元年度　国籍別実人数

国籍	人数
ブラジル	63
ベトナム	29
中国	9
フィリピン	8
スリランカ	4
ペルー	3
ニュージーランド	3
日本	2
トンガ	2
インド	1
ネパール	1
スペイン	1
計	126

・日本語能力が高いことにより、日本人とのコミュニケーションが円滑に進み、良い仕事につけることなどから、外国人人口の増加と比例して参加者が増加している。
・コロナ禍で、日本語能力が低いために解雇される例もあり、問合せも増えているが、新型コロナウィルス感染防止策のため、人数制限を設けており、順番待ちになっている。

袋井国際交流センター

（１）所 在 地　　袋井市新屋一丁目１番地の15
（２）建物面積　　北側　　１５９㎡
　　改修南側　　９８㎡
　　計　２５７㎡
（３）総事業費　　７，０５４千円

▲鉄扉をガラス扉に取替、窓を設置

▲相談スペース兼会議室

２月６日（土）開催の「日本語教室」

（１）時　間　　午前９時30分～
（２）参加者　　ア　学習者　…　外国人市民10人程度
　　※日本語習得レベルが概ね初級の定住者を主とした外国人市民
　　イ　サポーター　…　学習者を支援する日本人市民10人程度

【お問い合わせ】シティプロモーション室　TEL:0538-44-3104　E-mail:kikaku@city.fukuroi.shizuoka.jp